

センター校による出前研修会



となみ総合支援学校では、年間を通して、特別支援教育コーディネーターが地域の小・中・高等学校に出向き、校内研修への協力をしています。

1 発達障害とは ～特性理解と支援～

授業に集中できない、コミュニケーションが苦手、集団活動に参加できないなどの様子が見られる児童生徒は、多くの困難を抱えています。この研修会では、発達障害についての基礎知識と特性に配慮した具体的な支援について学びます。

2 「個別の教育支援計画」・「個別の指導計画」の作成と活用

特別な支援を必要とする児童生徒に対して「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作成することが必要です。校内の職員で支援を共有し、さらに中学校・高校へと引き継いでいかなければなりません。

この研修会では、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」とは何かや記入方法等、基本的なことを学びます。

3 学校生活で苦戦している児童生徒への支援 ～各校での事例に基づいた支援の共有～ (小学校・中学校・高等学校編)

通常の学級や特別支援学級に在籍している配慮の必要な児童生徒について、全ての職員が実態を把握し一貫した方針や方法で関わって支援していくことが重要です。

この研修会では、発達障害の疑似体験を通して児童生徒の抱える困難さを理解したり、事例を通して考えられる支援についてグループで話し合ったりします。

4 読み書きの指導 (小学校編)



学級の中に、読み書きが苦手な児童が在籍していることがあり、早い時期の適切な支援が必要です。

この研修では、「音と文字のつながりを理解する力」「形や位置関係を理解する力」「意味を理解する力」「見る力」「覚える力」などつまずきの背景について知り、個々の特性に応じた支援について提案します。

5 「みんなが分かる！」授業づくり ～授業のユニバーサルデザイン～



基礎学力の向上のためには、学校全体で授業改善に取り組むことが近道です。

この研修では、授業のユニバーサルデザインの観点から、授業づくりのポイントについてお話しします。「みんなが分かる」ための工夫をお伝えします。

6 「認め合い学び合える」学級づくり

学校生活で困難さを抱える子供たちを含め、全ての児童生徒がお互いの良さを理解し合い、仲間の中で成長するには、一人一人を大切に学級づくりが必要です。

この研修では、安心して学べる環境、学習や生活のルールづくり、個々の良さを認め方等についてお話しします。

7 「インクルーシブ教育」について ～「基礎的環境整備」「合理的配慮」とは～

インクルーシブ教育システムを構築するためには、「基礎的環境整備」や「合理的配慮」について考えていく必要があります。インクルーシブ教育の基本についてお話しします。

各校のニーズに合わせて様々な研修会に応じます。
お気軽にご利用ください。

お知らせ

8月に、本校を会場に特別支援教育公開研修会を実施する予定です。

詳細は、後日ご案内します。

